

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 22日

事業所名 olive

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8名		・引越後、部屋の数が増えた為、適宜クールダウンを行っ	今後も児童の状況により、個別での活動を行っていきます。
	2 職員の配置数は適切である	8名			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6名	2名	・靴箱やロッカーに写真を貼り、児童に分かりやすいようにしている。 ・フローリングに均一にマットを敷くなど。	玄関の段差には、踏み台を設置し、必要に応じて児童への補助を職員が行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8名		・活動終了後、共有スペースを清掃しアルコールで拭き上げ、清潔を心掛けている。	おやつ後は、みんなで清掃する時間を設け意識づけをしています。今後も継続して行っています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8名		・定期的に職員が集まり、情報共有を行っている。	ミーティングや振り返りを行い職員間で共通理解に努めていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8名			継続して行っています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8名			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2名	6名		現在は保護者の評価と事業所内評価のみですが、今後必要に応じて外部評価の実施を検討しま
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8名			
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8名		ミーティング等で情報共有し、他職員の意見も取り入れ作成されている。	今後も情報共有に努めます。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8名			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8名			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8名			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	8名		・事前にミーティング等でプログラムの内容を検討している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8名		前月のカレンダーを見ながら固定化がないよう意識している。	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	8名				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8名		毎日、当番が担当制のため、開始前には役割確認をしている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8名		ストック等、記録に残したり翌日支援開始前に振り返りをし共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8名		記録はチェック表を確認しながらめげがない様確認し、ストックの内容を基に振り返りを行っている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8名		ミーティング等で情報共有を行っている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8名			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6名	2名		子育て支援センターなどを活用し、関係機関との関わりを広げていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3名	5名	対象児なし	重症心身障害児以外を受け入れる事業所として登録しています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3名	5名	対象児なし	重症心身障害児以外を受け入れる事業所として登録しています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8名		モニタリングや担当者会議の参加、日々の送迎での聞き取りなどを行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8名		モニタリングや担当者会議の参加、日々の送迎での聞き取りなどを行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8名		研修に参加した際は、事業所での事例を出し、助言や意見を伺っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		8名		児童館での活動を計画しているが実施出来ていない状況の為、今後は交流の場を設けていきます
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3名	5名		開催予定の際は、積極的に参加できる様にしていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8名			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6名	2名		研修案内や資料提供など、情報発信を行っていきます
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8名			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8名			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8名		相談を受けた際は出来るだけ迅速に対応するよう心がけています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8名		年2回保護者会や兄弟児を招き、交流の場を設けている。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8名			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8名		毎月、活動予定や日々LINEでの情報発信を行っている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8名			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8名		iPad等・写真や絵カードを活用しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		8名		地域とのつながり方を検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8名		訓練を行い、ミーティング等で改善すべき点を確認している。	今後もマニュアル等を職員・保護者で共有し、再確認していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8名		定期の避難訓練を子ども達が理解しやすい内容で行い備えている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8名			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6名	2名		対象児なしだが、受け入れの際は医師の指示書に基づき対応していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8名		内容を職員へ周知し、いつでも手に取り確認できるようにしている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8名			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8名		契約時に丁寧に説明し、保護者に聞き取りを行いながらサービス計画に記載しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。